

# 「尿臭・尿汚染を減らすための取り組み」

介護老人福祉施設 巴の園  
杉山弘・進士恵美

## A様のケアのアセスメント課題

尿汚染と尿臭をなくしたい。



居室に入ると尿臭があり多床室の為同室者にも不快感を与えてしまう。  
不衛生なイメージになってしまう。

A様 91歳

既往歴・・・脳梗塞 高血圧 気管支喘息 腰椎分離すべり症 右変形性股関節症 慢性心不全 膀胱炎

A様は入所時からオムツに手を入れてしまう方で、手を入れることで尿臭が強くなり、尿汚染も見られる傾向があり少しでも尿臭と尿汚染を改善したいと取組を行ないました。

- ・まずは排泄プロジェクトへ取組の目的を提案する。
- ・月に1度取り組み後の経過報告と職員間の情報共有を行なう。
- ・1日の水分摂取量が800cc~1000ccだった。
- ・A様から水分の要求はなく声掛けや介助での飲水だった。
- ・下剤は使用すると不快感からオムツに手を入れ汚してしまい下剤の使用はせず排便での排便だったが苦痛であった。
- ・臭いや尿汚染は水分不足と考えられたため1日の水分量を増やすところから始めました。

## A様への取組

今まで1日の水分摂取量800~1000cc A様からの水分の要求はなく声掛けや介助による飲水



1日の水分摂取量を1250ccに変更し、声掛けと介助を徹底して飲み残しをなくす

好きな飲み物を提供する



お茶が好きな為甘いものよりお茶の提供行う

手が止まってしまったり介助しても拒むことがある



時間を開けて（目の前からコップを下げて）再度声掛けや介助を行う。

オムツをいじり布オムツが濡れることで臭いが増す



オムツ交換時毎回布おむつの交換を行なう。

## 結果

自然に便が出るようになったがダラダラと出続けてしまい不快感からオムツに手を入れてしまう回数が増えてしまい尿臭も強くなってしまった。



看護師とも相談をし1100cc目安で水分提供を行う。

## 結果2

- ・オムツに手を入れる回数が減った→オムツが濡れずに臭いなくなる。
- ・排便の回数も2日に一度になる。→排便行なわなくても済む。

成果としては飲水量を調節したことでオムツに手を入れる行為の減少と尿臭と尿汚染を減少することができました。そして自然な排便により苦痛だった排便をなくすことができました。